

△注意・使用上の注意

■使用上の注意（保管・使用環境）

設計時

- (1) 屋外で使用される場合や、防水性を要求されるような環境で使用される場合は、適切な光学フィルターの設置、防水構造の採用、および、結露対策等を十分施して下さい。誤動作や、回路ショート等の原因となります。
- (2) 電源には安定化電源を使用して下さい。
- (3) 誤動作や動作しないことが予想されますので、下記のような状態ではご使用しないで下さい。
 - (a) 液体中（水、有機溶媒等）や腐蝕性ガス（亜硫酸ガス、塩素ガス、窒素酸化ガス等）および、潮風中での使用。
 - (b) 高温下での連続使用。
 - (c) 太陽光、自動車のヘッドライト等の直射を受ける場所での使用。
 - (d) 急激な温度変化がある場所での使用。
 - (e) 温風ヒーター、エアコン等の送風を直接受ける場所での使用。
 - (f) 強い振動がある場所での使用。
 - (g) 強い電磁波がある場所での使用。
 - (h) 当センサの検知エリア内に赤外線を透さない障害物（ガラスや壁等）がある場所での使用。
 - (i) 帯電、静電気が発生する場所での使用。
 - (j) その他、上記 (a)～(i) 項に準じる場所での使用。

■使用上の注意（実装上の注意）

実装時

- (1) 端子のはんだ付けは、こて先はんだで行って下さい。
- (2) 端子のはんだ付けは、できるだけすばやく行って下さい。具体的には下記の範囲で行って下さい。

はんだのこて先温度：350℃	
端子根元からの長さ	時間
1～3mm	1ヶ所につき 3秒以内
3mm以上	1ヶ所につき 10秒以内

保管および使用時

- (1) 当センサの光学フィルタを汚したり、傷をつけないで下さい。
- (2) センサ本体、および、端子部に強い衝撃を与えないで下さい。
- (3) 静電気や、電磁波の環境下では誤動作する可能性があります。十分ご評価の上、ご使用下さい。
- (4) 静電気や、強い電磁波等のある場所で保管しないで下さい。
- (5) 端子を、導電性スポンジから外した状態で保管しないで下さい。
- (6) 高温、多湿、塵埃の多い場所、液体中（水、有機溶媒等）、腐蝕性ガス（亜硫酸ガス、塩素ガス、窒素酸化物ガス等）及び、潮風の存在する場所で保管しないで下さい。
- (7) 保管環境は、周囲温度-10～40℃、相対湿度15～85%とし、納入後6ヶ月以内にご使用下さい。また、6ヶ月以上を経過したものはご使用の前にはんだ付け性を確認して下さい。

- (3) フラックスは、塩素含有率0.2wt%以下の水溶性のものを
ご使用下さい。
- (4) はんだ付け後のフラックスは、完全に除去して下さい。不
十分な場合は、誤動作等の原因となります。